

2014年度日本建築学会支部共通事業「建築物荷重指針」改定講習会 東京会場

主催 日本建築学会

後援(予定) 開催地都道府県建築士会、開催地都道府県建築士事務所協会、都市再生機構、日本風工学会、日本建設業連合会、日本建築家協会、日本建築構造技術者協会、日本建築構造設計事務所協会連合会、日本建築士会連合会、日本建築士事務所協会連合会、日本建築センター、日本建築総合試験所、日本鋼構造協会、日本コンクリート工学会、日本鉄鋼連盟、日本雪工学会

主旨 リノベーションや長期使用、想定を越えるような新しいタイプの大地震の被害が生じる現代社会において、建築物の構造設計では「用途変更も見込んだより長い供用期間に対応しつつ、将来起こりうるリスクを見通し、適切な荷重を設定すること」はますます重要になっている。『建築物荷重指針・同解説』は、前回2004年に改定版(第4版)が発行されたが、荷重指針は10年に一度の改定を目指しており、第4版の改定直後から本会荷重運営委員会の活動のもと、最新の研究成果・建築設計環境の変化への対応を盛り込み、2015年に第5版の刊行を迎えた。

特に現在の構造設計に合わせた改定、津波荷重と衝撃荷重という新しい対応への方針、東日本大震災の被害からの教訓なども組み入れた改定が行われたのが今回の特徴である。今回、全国に渡る講習会として企画したので、指針作成委員会から会員各位に直接説明することができる。会場にぜひお越しいただき、荷重に対する設計方針の最新の姿を見ていただきたい。

主な改定項目としては、東日本大震災の教訓を踏まえて、①偶発荷重の考え方の導入、②津波荷重の章新設、③衝撃荷重の章新設、④建物性能にロバスト性を追加したこと、などがあり、各章には過去10余年に得られた新しい知見、新しい情報などを反映している。また、荷重指針を2編に分けて、本編(第1編)で全荷重の本文と解説を、第2編で主に荷重ごとに設計例、詳細解説などを設けることにし、分冊とする

ことにした。なお、今回は、本編のみの発刊を予定しており、第2編は現在執筆中であり、およそ1年後の刊行を予定している。

各章の主な変更点は次の通りである。2章で荷重の組合せと要求性能を設計法から切り離し、性能設計への意識をより明確にした。雪荷重では2014年2月に関東甲信地方を襲った大雪による被害を踏まえ、降水量に基づく地上積雪重量の評価を推奨することにした。さらに雪荷重では、2014年の観測値を含む統計データに基づいた地上積雪深と地上積雪重量も示されている。風荷重では、限られた期間にのみ建設・使用される建築物の設計風速の評価が導入され、近年の研究成果に基づき、風力係数や外圧係数の値を一部見直し、構造骨組用振り風荷重の算定式の変更が行われた。地震荷重では、政府の地震調査研究推進本部による確率論的地震ハザード評価を活用していく方針に基づき、2011年東北地方太平洋沖地震の発生を踏まえて、従来は想定されなかったような極めて稀な事象の発生とそれによってもたらされる偶発荷重の扱いを記載した。温度荷重では、算定の基本となる年最高と年最低の外気温度について、52年間の気象庁データに基づいて再現期間100年に対する値を算定したほか、任意の再現期間に対応した年最高と年最低の外気温度も算定できるようにした。これら以外にもさまざまな見直しを行っている。

期日 2015年2月24日(火) 10:20~17:30

会場 砂防会館別館(東京都千代田区平河町2-7-5)

定員 600名

参加費(テキスト代含む) (1)日本建築学会会員 13,000円 (2)後援団体会員 15,000円 (3)会員外(1,2以外) 18,000円

テキスト 『建築物荷重指針・同解説』改定版、B5判、約700頁 ※テキストの一般販売は最終会場終了後となります。

~~申込方法 WEB、FAXにてお申し込みください。~~

~~WEBでお申し込みの方は、WEB申込みページからお申し込みください。~~

~~FAXでお申し込みの方は、申込みフォーマットをダウンロードのうえ必要事項をご記入のうえ送信ください(送信先:03-3456-2050)~~

~~また、参加費を以下の口座へお振り込みください。~~

~~振込口座:三菱東京UFJ銀行 京橋支店 普通預金口座 1719754 (シヤ) ニホンケンチクガツカイカントウシブ~~

~~参加申込書と参加費の入金を確認でき次第、参加券をお送りいたします。~~

~~なお、お電話での申し込みは受け付けておりません。~~

プログラム *講師・時間割りは都合により変更となる場合があります。

時間	10:20~10:30	10:30~10:55	10:55~11:15	11:15~12:00	13:00~14:15	14:15~15:30	15:40~16:05	16:05~16:20	16:20~16:55	16:55~17:30
内容	開会挨拶	改定の主旨 1章 総則 2章 荷重の組合せ	3章 固定荷重 4章 積載荷重	5章 雪荷重	6章 風荷重	7章 地震荷重	8章 温度荷重 12章 その他の荷重	9章 土圧および水圧	10章 津波荷重	11章 衝撃荷重
講師	支部役員	小檜山雅之 (慶応義塾大学)	山村一繁 (首都大学東京)	中島肇 (清水建設)	植松康 (東北大学)	石井透 (清水建設)	石川孝重 (日本女子大学)	鈴木誠 (千葉工業大学)	奥田泰雄 (国土技術政策総合研究所)	加納俊哉 (JSOL)

申込方法 ・WEBにてお申込みのうえ当日ご来場ください(当日受付窓口へお越しください)。

・参加費は当日現金にて受付でお支払いください。なるべく釣銭のないようにお願いいたします。

・なお、お電話での申込は受け付けておりません。

WEBでのお申込みはこちらから

FAX申込みフォーマット

問い合わせ先 日本建築学会関東支部

TEL 03-3456-2050 E-mail kanto@ajj.or.jp